

宇和島市教育委員会会議録

平成30年12月定例会

平成30年12月5日開催

宇和島市教育委員会

宇和島市教育委員会 平成30年12月定例会 会議録

1. 開会日時 平成30年12月5日(水) 13時30分～

2. 場 所 宇和島市役所本庁 801 会議室

3. 出席者 教育長 金瀬 聡 委 員 高山 俊治 委 員 木下 充卓
委 員 弓削 由美子 委 員 浅井 敬司 委 員 田村 裕子

4. 欠席者 なし

5. 会議に出席した公務員の職氏名

教育部長	上田 益也	教育総務課長	横山 泰司
学校教育課長	野田 克己	生涯学習課課長補佐	内升 幸記
文化・スポーツ課長	西川 啓之	伊達博物館長	土居 道德
人権啓発課長	山本 利彦	学校給食センター所長	家藤 芳仁
吉田教育係長	井東 敬文	三間教育係長	末光 優子
津島教育係長 (事務局)	首藤 将文		
教育総務課課長補佐	土居 弘	教育総務課総務係長	山口 真史

6. 付議事件

報告第38号 専決処分した事件の承認について

(平成30年度教育費12月補正予算の要求について)

報告第39号 専決処分した事件の承認について

(平成31年度教育費債務負担行為の設定要求について)

議案第35号 宇和島市立伊達博物館建替委員会設置要綱

議案第36号 宇和島市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について

7. 会議概要

(1) 開会宣言 (午後1時30分)

◎教育長

ただいまから、12月定例の教育委員会会議を開会いたします。会議に先立ちまして、一言ごあいさつさせていただきたいと思っております。12月ということですが、今年最後の会議なのですけれども、岡原市長がですね、いろいろなところであいさつされる中で、この1年間を振り返って、自然の力になかなか振り回された一年だったですというようなことを仰っていました。私自身は4月からなので、2月の話はニュースで見た程度ですけれども、特に三間地区は大雪で300件ぐら

いの方が、お宅で水道管が破裂したりということがあったのですかね、そしてこの7月には豪雨災害がありました。そういった中で、よく自助、共助、公助こういう言われ方をされるわけですが、自助、共助、連携、協力というようなことの大切さが改めて認識される機会になったかなというように思います。そういったその助けあったり、支え合ったり、あるいは連携、協力というキーワードに引っ掛けるわけではないのですが、この12月にですね、「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について」という、これは中央教育審議会でも年内に正式な答申として取りまとめられる予定で今作業が進められているものです。この答申を受けて文科省も施策を決定していくのだろうなというふうに感じますが、そういう意味で、今後の自治体レベルでも大いに意識していくべき方向性だと思います。ここでは、34ページものの資料の内、表紙と目次、そしてはじめにと、おわりの部分だけ参考までにつけておりますけども、目次をご覧くださいますと、第1部第1章のところに三つのキーワードが出てきます。人づくり・つながりづくり・地域づくり、これを社会教育の基盤としてやっていくことが大切だと、一言でいうとこういう中身にどうもなっていきそうです。はじめにとという部分に書いてあることは後ほどご覧いただきたいと思いますが、2枚ものの一番最後のおわりにとというところを書いてあるところを、少しポイントだけ確かめてみたいと思います。二つ目の丸のところに答申では、二行目に移って、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりというこういう言葉が出てきました。二行おいて、「開かれ、つながる社会教育」を提示したという、こういうキーワードになっています。この二つのキーワードは一番下の丸のところに再度出てきますけれども、三つ目の丸の段落をご覧くださいますと、学びの場への地域住民の主体的な参画がこういった出発点となるというようなことがまず書かれていて、そういったことを展開していくうえで、首長部局、学校、NPO、企業等の多様な主体が、これまで以上に連携・協働することが必要となる、こういうふうに書かれています。このことについてはまさに今回、吉田の災害があった時に、市長部局、教育委員会、学校、それからNPOのみなさんもたくさん入って来てくれました。それから、ボランティアの方も入って来てくれました。企業さんからもいろいろな支援もいただきました。そういったことがあって今、復興の途上にあるのだとすると、まさにこれからこういうことがより一層必要になってくるのだろうなということを、身を以てこの夏、この地域は経験したという、そういうことだと思います。合わせて、三つ目の丸の一番最後の二行のところになりますけれども、専門的な人材に加えて、地域において様々な分野で活動する多様な人材が、様々な取組を実施することが重要である、そういうことが言われているわけですが、これに相当するところでいくと、清満がえがお食堂始めました、蔣淵もしています、三間ではもみの木さんでかなりいろいろな、自助・共助の活動が出ていますというような芽生えも、この地域に現にあって、ある意味そういう芽生えた動きを育てていき、これを展開していき、あるいは飛び火させたりと、そういうような機運を高め実践できるような社会教育というようなものが今後必要となってくるのだろうなという、ある種重要な内容を持った答申が間もなく出されるということのようなんです。私たちは大いに注視しておく必要があるのだというふうに感じています。以上、この一年を振り返って、そして今後こういった動きが出てくる、来そうですと、注意しておきましょうという

ことを申し上げて、冒頭のあいさつに代えさせていただきたいと思います。

(2) 教育長報告

◎教育長

それでは続いて、教育長報告に移りたいと思います。資料の中の11月分の教育長報告のページをご覧ください。11月いっぱい概ね、主だったところ、こういうようなイベントだったり、研修会に参画して参りました。いろいろな内容が並んでいますけれども、今日はここで三つ拾い上げて、感想なりを申し上げたいと思います。1点目は、9日金曜日、四国の国公立幼稚園・こども園の園長が一堂に会した研究大会がありました。これは、こういう資料を追加でお配りしていると思います。非常にかわいらしい冊子になっていますけど、表紙めくって1枚目に四国の国公立幼稚園・こども園長会連絡協議会の会長さんがあいさつを書かれています。3つ目の段落、真ん中辺のところ、本大会では、「未来の創り手となる子どもを育む幼児教育を目指して 一家庭・地域との連携を通して幼児期にふさわしい遊びや生活を考える―」そういう研究主題を設定しましたと、書かれています。そして、次のところに、幼稚園・認定こども園の教育・保育要領が今年度より実施となっていますというふうに説明されています。今、小中学校の学習指導要領32年から、その後高校のほうも変わるわけですが、幼稚園の段階から小中高まで一環した考え方に基づく教育の要領が示されていて、まず幼稚園は今年からスタートになっていますという、ここをきっちりやっつけていけるような研究会にしましょうとそうことを会長さんは仰っています。3番目の段落の上から6行目の真ん中より少し右のところから、幼児は、主体的に環境や人と関わる中で、「自分ってすごい」「自分でやってみると楽しい」「友達と一緒にいいな」「こんなこともできるな」「次はどうしよう」など、豊かな感情をともなって自分づくりしていきます。こんなことを書かれていて、まさにそういう方向に向けての勉強会だったなと思いました。非常に面白い発表がありましたので、その次の紙に裏表ですけども付けておきました。これどういう取り組みだったかということ、後ほどご覧いただきたいのですが、徳島県のある地域ではやっぱり子どもの数が減ってしまって、小中学校の統合が進み、幼稚園の統合が進み、幼稚園が1つ、小学校が1つ、中学校が一つの地域になってしまいました。でもそれを受けて、であるならば幼小中一貫校みたいな運用をしていこうではないかということで幼稚園、小学校、中学校の先生方がタッグを組んでいろいろな取り組みを始めたところ、非常に良い結果が出てますとそういうような発表でした。宇和島地区もそれに似通ったような状況が出つつある地域もあると思いますし、特に三間でいきますと、前回もお話したと思いますけども、3つの保育園、こども園、3つの小学校、1つの中学校、そして1つの高等学校、高校まで入れて先生方が一同に会する機会を作られている、ここは非常に今後のことを考えた時にすばらしい状況にあるのではないかなということ改めて強く感じました。

そして、次に21日(水)、道徳教育の推進校、城北中学校で、研究発表会がありました。午前中の授業参観と午後の講演等々、丸々1日のメニューだったのですが、こうゆうペーパーを参考までに付けておきます。本物の冊子はこれです。今回の研究の成果と課題が1枚めくっていた

だいた裏、石止校長先生のごあいさつの中にすべて凝縮されて表現されているなと思いましたので、これをつけさせていただきました。真ん中辺に、特にという言葉で始まる段落があります。2年間の研究推進において効果が大きかったのは、「道徳オリエンテーション」と「問い返し」、「揺さぶる発問」の研究、そういった質問の仕方の研究と工夫でした。生徒は、オリエンテーションと問い返しにより、「自分の意見を言うのは恥ずかしくない」まで成長し、自分と他人との意見や考えの違いを認めることができてきました。様々な授業形態・授業実践を推進することで、95%の生徒が「道徳の授業は好きだ」と答えるまでになったのは大きな成果だということを経験しています。実際授業を見てですね、本当にすばらしい授業だったなと思います。命に関わるようなテーマ、題材をテーマに授業を進んだところを見せてもらいましたが、先生の間いかけに対して、生徒さんたちそれぞれ意見を、こうカリカリと筆が止まることなく自分の意見を書き出したうえで、それをお互いに発表して、僕はこう思うのだけど、君はそういうことなのだねとかいう意見交換をした後に、まとめの発表も生徒さんがしていました。非常にすばらしいものを見せてもらったなと思います。石止先生に伺ったところ、先生方自身も2年前にあの研究が始まる前の段階では一体道徳って何をしたらいいのだろうと手探り状態だったんですけども、2年間やってきて、先生方自身も大いに成長されて、自信をつけたというふうに仰っていました。そうした取り組みが宇和島市内の各中学校、そして小学校に展開されるようになると相当変わってくるのではないかなというふうに非常に心強く感じました。最後、28日の宇和島水産高校で行われた教職員対象のコーチング研修というものを少し覗かせていただきました。水産校の先生がコーチングの専門業者を呼んで研修を受けるという話を少し耳に挟んだのですが、どんなものなのか見させていただきたいということでお邪魔したのですが、何故そういう動きをしたかということ、これから先生の役割として、ティーチというスキルに加えて、コーチあるいは、ファシリテーションというようなものが、そういう技術が重要性が高まってくるであろうというようなことが最近あちらこちらで言われているようですので、そういったものを高校の先生たちが勉強されているというので少し覗いてきたということでもあります。講義はまさに teach で展開されるのではなくて、次々と質問が投げかけられるというスタイルで進められていました。先生方たちは投げかけられた質問に対して一生懸命答えるように自分での中で作っていく、まさに脳がアクティブに働かざるを得ないという状況の中で講義が進められていったと。これがコーチングスタイルなのだなというのをひしひしと感じましたということでもあります。以上、11月の仕事の中で、3点ほど特にお伝えしたかったことを申し述べさせていただきました。

この件に関して、何かご意見ご質問がありましたらお願いいたします。

— 委員からは特に意見なし。 —

(3) 付議事件

◎教育長

次に議事に入ります。本日の議案ですが、報告第38号と39号については、今の時点で予算が公表されていないことから、議案第36号については人事案件でありますので、非公開で審議した

と思いますが、ご異議はありませんか。

◎全員

異議なし。

◎教育長

異議がないようですので、非公開で審議します。

◎教育長

報告第 38 号を上程する。

報告第 38 号

専決処分した事件の承認について

平成 30 年度教育費 12 月補正予算の要求について

◎教育長

説明を求める。

○教育総務課長、生涯学習課課長補佐、文化・スポーツ課長、学校給食センター所長

平成 30 年度教育費 12 月補正予算の要求に関する報告事件を説明する。

◎木下委員

吉田町図書館の再開の目処を問う。

○生涯学習課課長補佐

目標として来年 5 月頃には復旧工事を終えるような工程で今取り組んでいる旨回答する。

◎教育長

報告事件について諮る。

◎全委員

異議ない旨答える。

◎教育長

報告のとおり承認する旨宣する。

報告第 39 号を上程する。

報告第 39 号

専決処分した事件の承認について

平成 31 年度教育費債務負担行為の設定要求について

◎教育長

説明を求める。

○文化・スポーツ課長

平成 31 年度教育費債務負担行為の設定要求に関する報告事件を説明する。

◎教育長

報告事件について諮る。

◎全委員

異議ない旨答える。

◎教育長

報告のとおり承認する旨宣する。

◎教育長

それでは、非公開案件の審議が終了したので、会議を公開します。

次は議案第 35 号について事務局から説明お願いいたします。

○文化・スポーツ課長

教育長。文化・スポーツ課です。議案第 35 号、宇和島市立伊達博物館建替委員会設置要綱でございます。提案理由といたしましては、伊達博物館の建替の検討を行うため、宇和島市立伊達博物館建替委員会設置要綱を制定しようとするものでございます。ご承知のように老朽化した伊達博物館の建替を行うため、宇和島市の伊達博物館建替委員会を設置するというような要綱を規定するものでございます。今年度におきまして、6 月と 10 月の 2 回におきまして準備会のほうを開催いたしました。その 2 回の準備会によって、今回上程させていただいております委員会要綱をまとめたものとなっております。委員会としては、建替に関する基本構想から建物全般に関する事項を検討していただくような役割といたしまして、25 名以内の委員さんで組織をしたいというふうに考えております。なお、委員さんには正式依頼をしておりますが、10 ページを少し見ていただいたらと思うのですが、第 3 条第 2 項ですが、まず 1 番といたしまして、市議会議員、2 番目に学識経験者、有識者等、3 番目に文化財保護関係団体の代表者、4、関係行政機関の職員、とあと 5 番目にその他教育長が必要と認めたものということで、ほぼ満遍なく関係の方々に依頼をして、すばらしい建物ができるような形に推進していきたいというふうに考えております。なお、今年度中には、年明けになると思うのですが、第 1 回目の会議を開催したいと考えております。以上でございます。

◎教育長

ただいまの説明について、ご意見ご質問等ございませんか。

◎全委員

— 特に質問、意見等なし。 —

◎教育長

ご異議等ありませんか。

◎全委員

異議なし。

◎教育長

異議なしのため、本件は報告どおり承認します。

次の議案 36 号については、非公開で審議します。

◎教育長

議案第 36 号を上程する。

議案第 36 号

宇和島市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱について

◎教育長

説明を求める。

○生涯学習課課長補佐

宇和島市立公民館運営審議会委員の解嘱及び委嘱に関する原案を説明する。

◎教育長

原案について諮る。

◎全委員

異議ない旨答える。

◎教育長

原案のとおり可決する旨宣する。

◎教育長

それでは、非公開案件の審議が終了したので、会議を公開します。

以上で本日の予定の議事は終了いたしました。

(4)その他

◎教育長

他に何か意見等ありませんか。

○生涯学習課課長補佐

教育長。すみません、生涯学習課から簡単にパフィオのご報告だけさせていただいたと思います。お手元にお配りの資料の宇和島市生涯学習センター 指定管理者選定・導入スケジュールというレジュメがあると思うのですが、みなさんご承知のとおり、今駅前に複合施設が建設中でございます。正式名称が「宇和島市学習交流センター」、愛称が「パフィオうわじま」と言いまして、この資料の丸の一番上ですね、宇和島市生涯学習センター、これが生涯学習課所管の施設になりますけれども、パフィオうわじまの1階部分に生涯学習センターができます。この生涯学習センターの運営につきましては、2つ目の丸にありますように、民間の企画力であったり、ネットワークを活用して、管理運営の効率化であったり、市民サービスの向上を図るということで指定管理者の導入をするということで、募集をいたしております。3つ目の丸で、指定期間が平成31年4月6日、これがオープン予定日です。そこから平成34年3月31日のほぼ3年間の期間で募集をいたしました。下の表の真ん中より少し上、11月8日から15日とありますけれども、一応3団体からの申請がございまして、株式会社上田、株式会社レスパスコーポレーション、伊予鉄総合企画株式会社、この3者の申請を受け、その下の段、11月21日に選定委員会を開催し、各事業所よりプレゼンを受けまして、その中で最も点数の高かった、株式会社上田を指定管理者の候補者として選定いたしております。下から4段目でございますが、本決定事項につきまして、12月議会に議案として上程させていただき、この後議決を受けて、オープンに向けて準備していくという流れになっております。めくっていただいて、左右のほうが参考なのですが、選定委員会を開催した際の選定基準が左側のとおりです。満点が100点で7名の選定委員さんがおられ

ますので 700 点満点の中で一番点数の高かったものを、業者として選定しますよということです。右側が 3 者の合計得点です。株式会社上田は選定業者なので名前を出しておりますが、あと 2 者につきましては、A 社、B 社ですので少し伏せさせていただいておりますが、このような結果でありました。次をめくっていただいて、参考までに指定管理者の選定委員さん、内部委員といたしまして、玉田副市長、藤田総務部長、上田教育部長、外部委員といたしまして、ご覧の 4 名の方に入ってくださいまして選定をした次第です。それが 1 点目の報告となります。2 点目といたしまして、兼ねてから建設予定でありました和霊公民館の建替につきまして、先般入札が行われ、株式会社古田工務店さんが落札をして、仮契約という状況でございます。これにつきましては、同じく本 12 月議会に上程させていただき、議決後工事の着工に入るという流れになるかと思えます。1 枚目の図面の真ん中に描いてございますが、和霊公民館、木造の平屋建てでございまして、延床面積が 718.39 m²ということで、今の和霊公民館が 420 m²なので約 1.7 倍の広さになることとなります。年明けの着工なので年度末には当然竣工ということにはならないと思われまして、繰り越したうえで来年の秋頃竣工かなという見通しを立てています。この図面の左上に正方形の斜線が入っているところですけども、実はこれ旧勤労青少年ホームの敷地なのですが、ここに旧和霊小学校のプールがございまして、そのプールが愛媛県最古のプールということで、竣工したのが昭和 15 年 9 月ということで、ちょうど戦前、戦中頃のタイミングでして、おそらく鉄が少なかつたりとか、そういう事情もあったのかなと推察するのですが、鉄筋と竹の筋、竹筋ですね、竹を鉄筋の代わりに入れて造ったような非常に文化的にも工学的にも希少な構造物だったらしです。それはすでに取り壊しているのですが、その一部分をですね、やっぱり希少な物なので、展示といいますか、する要望が地元から強くあったと聞いております。いろいろと議論があったとは聞いておりますけれども、結果的にはこの場所にですね、竹筋の一部分を展示し、4 方向の内の 2 方向を壁で囲んで、和霊公民館が平屋なので、同じような設えで屋根をつけてということで、来ていただいた方に見ていただくということです。2 枚目の見取り図があるのですが、公民館として必要な機能というのは当然備わっておりまして、真ん中辺にエントランスロビーとありますけれども、これが 75.81 m²ということで、地域住民の方々なら誰もが気軽にくつろげる、そういったスペースになるのかなということを想定しているのと、あと、一番右端にこういった時代ですので防災倉庫も兼ね備えていることになっております。あと見取り図については、また参考までにゆっくりご覧になっていただけたらと思います。以上簡単ですが、報告を終わります。

◎教育長

はい、ありがとうございます。もう 1 件あるのですか。お願いします。

○伊達博物館長

教育長。伊達博物館です。秋の特別展、大変お世話になりました。ありがとうございます。10 月からの展示は引き続きまだ開催しているものです。それでまた何かしないといけないなと思ひまして、宇和島東高等学校サッカー部が全国高校サッカー選手権大会に出ましたので、大変明るい話題で、大変嬉しいのではないかなと、私たちも東校を応援することはできないかなと思ひ

まして、伊達家に伝わる八咫鳥があるのですけども、缶バッジを作りました。保存会のほうにも缶バッジを作っていていいと了解を得まして、宇和島東高等学校の校長先生にこんな缶バッジを作るのですけども、もらっていただけますかということを知りましたら大変喜んでいただきまして、ぜひ贈呈式もしたいということで今度、まだ日は決まっていなわけなのですけども、また贈呈式を、テレビとか愛媛新聞に連絡しようかなと思っています。一応 100 個作って持っていこうかなと思っています。そして、こういうチラシを作っているのですけども、東高校も近くですので、子どもたちにぜひ伝えていただいて、実際にこの八咫鳥展示しておりますので、見ていただいて歴史に親しんでいただいたらとありがたいなと思って、この企画をしました。みなさんもぜひ見ていただいたらと思っています。ただ、贈呈式終わっていませんので控えていただいて、新聞とかで大々的に発表されたら貼って宣伝していただいたらありがたいと思います。どうぞよろしくお願いたします。

◎教育長

一個一個手作りですか。

○伊達博物館長

はい。今日、150 個くらい私作りました。作るのはプレスしたら簡単に作れるのですが、なかなか八咫鳥を切り取って、周りの文字を合わせるのになかなか手間がかかります。

◎教育長

はい、ありがとうございました。他、何かこの際だからというようなことがあれば。

○教育総務課長

教育長。資料用意できなかつたのですが、すみません。ご報告事項が 1 件ございます。津島中学校の白鷺寮の件でございます。白鷺寮、現在寮生 4 名でございます。3 年生が 2 名、2 年生が 2 名、計 4 名ということで、3 年生の竹ヶ島に住所地のある子が今年卒業し、残り 2 年生 2 人だけになって、来年新 1 年生が入寮生ゼロということになることによって 2 年生の子が陸続きのところから通えるので、交通の確保をすることで寮をいきなり閉寮はできないので、休寮という形の手続きが取れないかということで保護者と協議をさせていただいて、ご同意をいただきましたので、来年の 3 月 31 日、今年度末をもって、津島中学校の白鷺寮につきましては、休寮という手続きを取ろうということで、ちょうど今日市長までの決裁がおりたところであります。以上です。

◎教育長

だいぶ古いですね。

○教育総務課長

そうですね、耐震化ができない建物ということもあったので、安全性の確保の意味でも、本来教育委員会としては、陸続きであればご自宅から通っていただくのが良いだろうということで交通の手配をするということでご同意をいただきました。

◎教育長

他ございますか。

◎木下委員

いいですか。吉田中学校からなのですけども、災害によって体育館が使えないため、文化祭ができませんでした。今度の12月8日土曜日にその文化祭の代わりに、吉田中学校のグラウンドでいろいろな方の協力をいただきまして、吉田町の復興記念イベント「吉中愛顔未来フェス」というのを開催いたします。天気予報では雨はあがるのですけども、一番の冷え込みになるという予報が出ている寒い日ですけども、土曜日の午前10時20分から夕方4時まで、吉田中学校グラウンドにおいて、それぞれの出店が出たり、またコンサートがあったり、三間高校、津島高校、それぞれの高校生や花れんさんのライブとか、お笑い芸人バンビーノが来たり、やのひろみさんの司会でそういうイベントがあります。長い時間ありますし、食事などもそれぞれの団体がいろいろなものを出店するそうなので、趣旨としましては、生徒の励みになるような行事を行うことができないかということで、保護者や教職員が宇和島復興イベント実行委員会の賛同をいただいて実現できたものです。中学生からは小学生や小さい子どもたちを元気づけたい、そして感謝の気持ちを伝えたい、地域中学生の元気を届けたいという声上がり、その声に地域内の事業所、高等学校、団体、グループ、個人などたくさんの方々が賛同していただきまして、こうゆう催しができることになりました。ぜひ長い時間ありますので、寒い中ではありますが、立ち寄ってまた中学生たちを見ていただけたらと思います。よろしく願いいたします。

◎教育長

他ありますか。

— 特に意見なし。 —

◎教育長

それでは次回の日程について。

— 協議のうえ、教育委員会1月定例会を1月28日に開催することを決定する。 —

(5)閉会宣言（午後2時31分）

◎教育長

それでは以上をもちまして、教育委員会12月定例会を閉会いたします。